

さくらそう通信 NO6

さくらそう友の会 2018-1月

平成30年が始まりました。今年は異常な程の寒さが続いています。2月は芽分けの季節。夏の休眠期をへて秋には花芽が大きく育っているはずですが。

我が家では鉢数が多く2月に始めるととても間に合わないので、12月から芽分け作業を開始しました。夏の管理が悪くて 鉢をひっくり返しても何も出てこない、小さな芽が多い、コガネムシの幼虫が出てくる場合もあり、これは完全に芽が食べられているのです。右の写真は 掘り起こした株 立派な芽が二つ

あり、手前は古い根、古い根は捨て二つの芽は離して植えます。

下の写真は「ぎんぷくりん銀覆輪」

江戸時代末期の園芸品種です

沢山増えたのでお分けしますよ。



今年はそれぞれのお宅のさくらそうを鑑賞したり、各地で開催されるさくら



そう展を見に行ったりなどと思っています。忙しい皆さんでしょうが万障繰り合わせをお願いします。